

ホロベツ地区における社会実験の実施結果について（報告）

【概要】

100 平方メートル運動地の公開と普及を目的に知床国立公園ホロベツ地区に複数の歩道（トレイル）の試験的な設置・供用を行った。平成 26 年度は、知床国立公園指定 50 周年事業の一環として、運動地の公開に加え、知床五湖早期閉園後の受け皿となる社会実験と位置付け、実施した。

【実施主体】

主催：斜里町、公益財団法人 知床財団

後援：環境省釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道オホーツク総合振興局

【実施期間】

2014 年 10 月 14 日～10 月 31 日（18 日間）

【実施内容と結果】

1. 遊歩道の設置と運用システムの構築

既存の遊歩道である「フレペの滝遊歩道」を含め、下表の通りそれぞれ特徴の異なる 4 コースを設置した。新コースを含む「森づくりの道」には、実験期間中 800 名を越す立ち入りがあり、1 日平均 50 名弱の利用があったと推計された。最も長いロングコースにも総計 150 名程度の利用があり、一定のニーズが確認できた（表 1）。

表 1. 社会実験における設置コースと利用実績

設置 コース	1. フレペの滝 遊歩道	2. 森づくりの道 【シカ柵コース】	3. 森づくりの道 【ショートコース】	4. 森づくりの道 【ロングコース】
	既存		新規	
距離/時間	2km（往復）/1 時間	0.5km(往復)/0.5 時間	3km（1 周）/2 時間	5.5km/3 時間
入込数（総計）	3584 人	237 人	426 人	150 人
日平均	199 人	13 人	24 人	9 人



写真. 新規設置コース「森づくりの道」を散策する来訪者

2. 事前レクチャーと情報提供

知床自然センターで散策前の利用者にヒグマ対策や100平方メートル運動を紹介する事前レクチャーを実施した。また、自然センター館内に無料のwi-fiスポットを新設すると同時に、webGISを用いたオンラインでの情報提供も試みた。

レクチャーは無料とし、専用マップやリーフレットの配布も行った。知床自然センターで実施したレクチャーには、163回780名の参加があった。新コースの利用者の大半が自主的にレクチャーに参加したと考えられ、自由利用を前提としながら、ルールやマナーの向上を図ることができた。



写真. 自然センターでのレクチャーの様子（上左）と遊歩道の入口看板（上右）

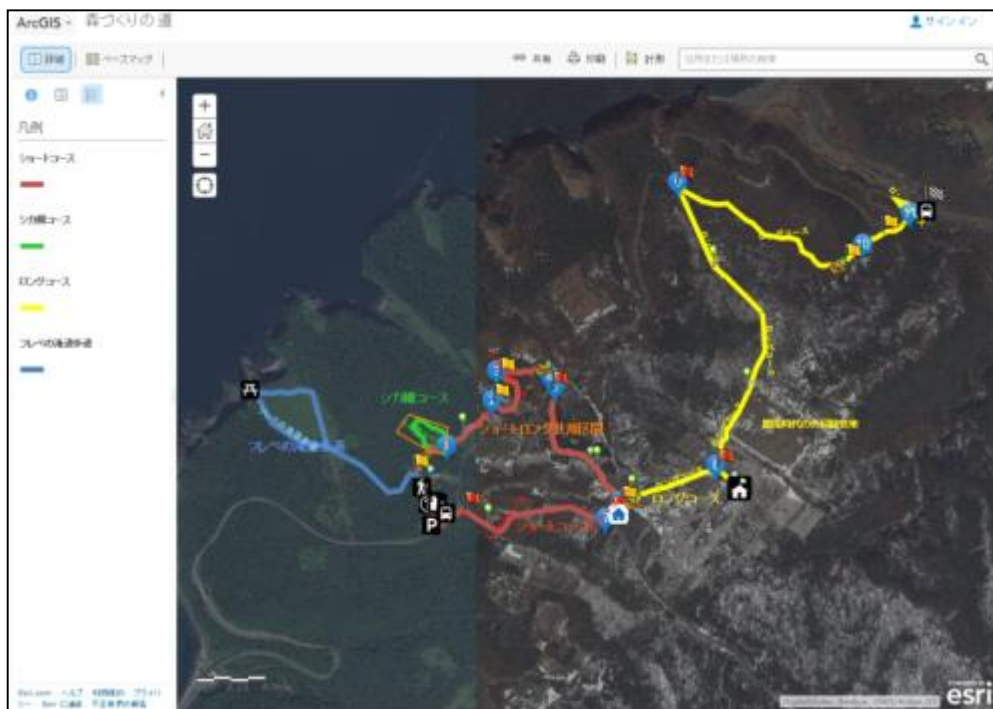


写真. web GISで公開されたオンラインマップ。見どころや解説動画へもアクセス可能

3. 公共交通機関の活用

最も長いロングコースは、岩尾別バス停が終点となっており、バス利用と連携することで公共交通機関と連携した公園利用のあり方を提案した。実験期間中は、レクチャー受講の特典としてロングコース散策者に無料のバスチケットを配布した。無料バスチケットの使用実績は総計 107 名あった。



写真：散策後、路線バスを待つ利用者

4. 社会状況を含めた広報の実施

10月13日より域内最大の観光拠点である知床五湖が早期閉園するため、積極的な広報を実施し、ホロベツ地区への誘導を図った。実験期間中、知床自然センター入館者数、ダイナビジョン観覧者数は、いずれも前年同月比を大きく上回った。また、既存の遊歩道であるフレペの滝コースにおいては、前年同月比のおよそ 2.3 倍の水準となる 3600 人超の利用があった。知床五湖早期閉園の影響により観光入り込み全体が落ち込む中で、その影響を緩和する役割を果たしたと考えられる（図 1）。

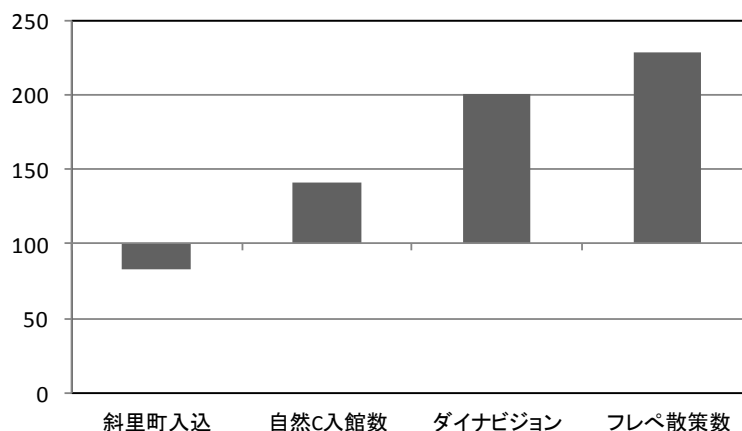


図 1. 2013 年 10 月を基準（100）とした各施設の入込み指数

5. モニタリングとモニターツアーの実施

利用者数や利用者の評価、環境影響等を把握し、次年度への検討を行うための各種モニタリングを実施した。実施コースにおいては、自動計測カウンター（4ヶ所）による利用者動態モニタリング、利用者アンケートの実施（340サンプル回収）、植生への影響を確認するための定点撮影（4地点、16プロット）等を行った。

また、1日2回のモニターツアーを実施した。モニターツアーは、34回催行され総計149名がツアーに参加した。ツアーの引率にあたっては、知床財団職員に加え、地域で活動するネイチャーガイド10名が担当した。



写真. モニターツアーの様子（左）とモニタリングデータの収集（右）

6. 利用者評価

(1) アンケート結果

散策後の利用者を対象としたアンケート調査の結果では、散策について「とても満足した」「満足した」と回答した利用者の割合は9割を越えた。また、再度「森づくりの道」を訪問したいか、との問いについても「とてもそう思う」「そう思う」と回答した利用者の割合は8割を越えており、取り組みに対する評価は概ね好意的と考えられる（図2）。

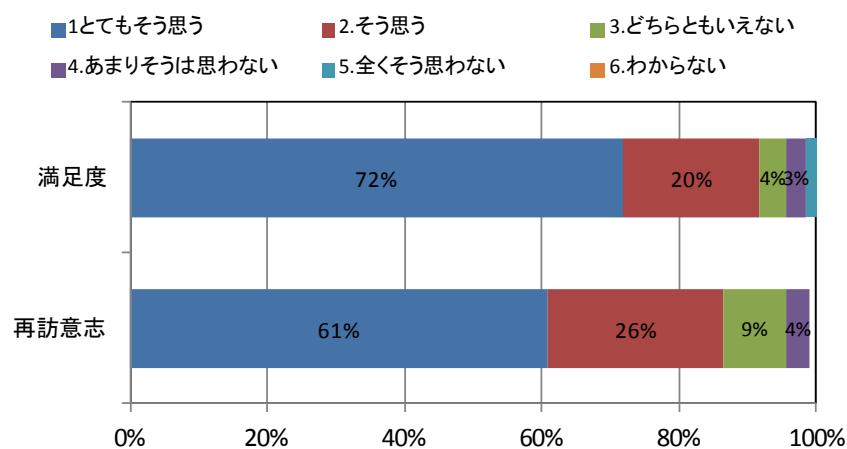


図2. 「森づくりの道」についての満足度と再訪意志（N=340）

散策前の100平方メートル運動に対する認知率は、35%と高くはなかった。一方で、レクチャーや散策の体験を通じて運動に対して「理解した」「興味を持った」と回答した利用者はおよそ8割に上っており、運動の普及や推進への効果が期待できた(図3)。また、実施期間中に自然センターカウンターでトラストに加入した利用者は5名おり、賛助会員への入会者数も10名あった。

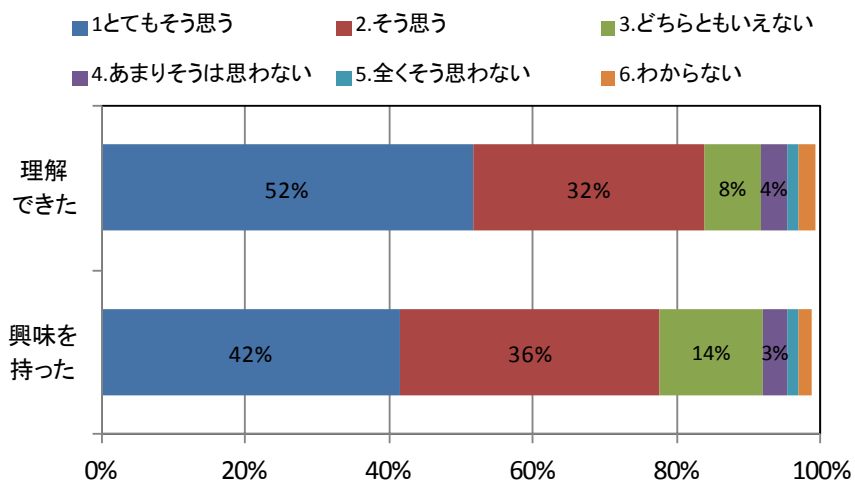
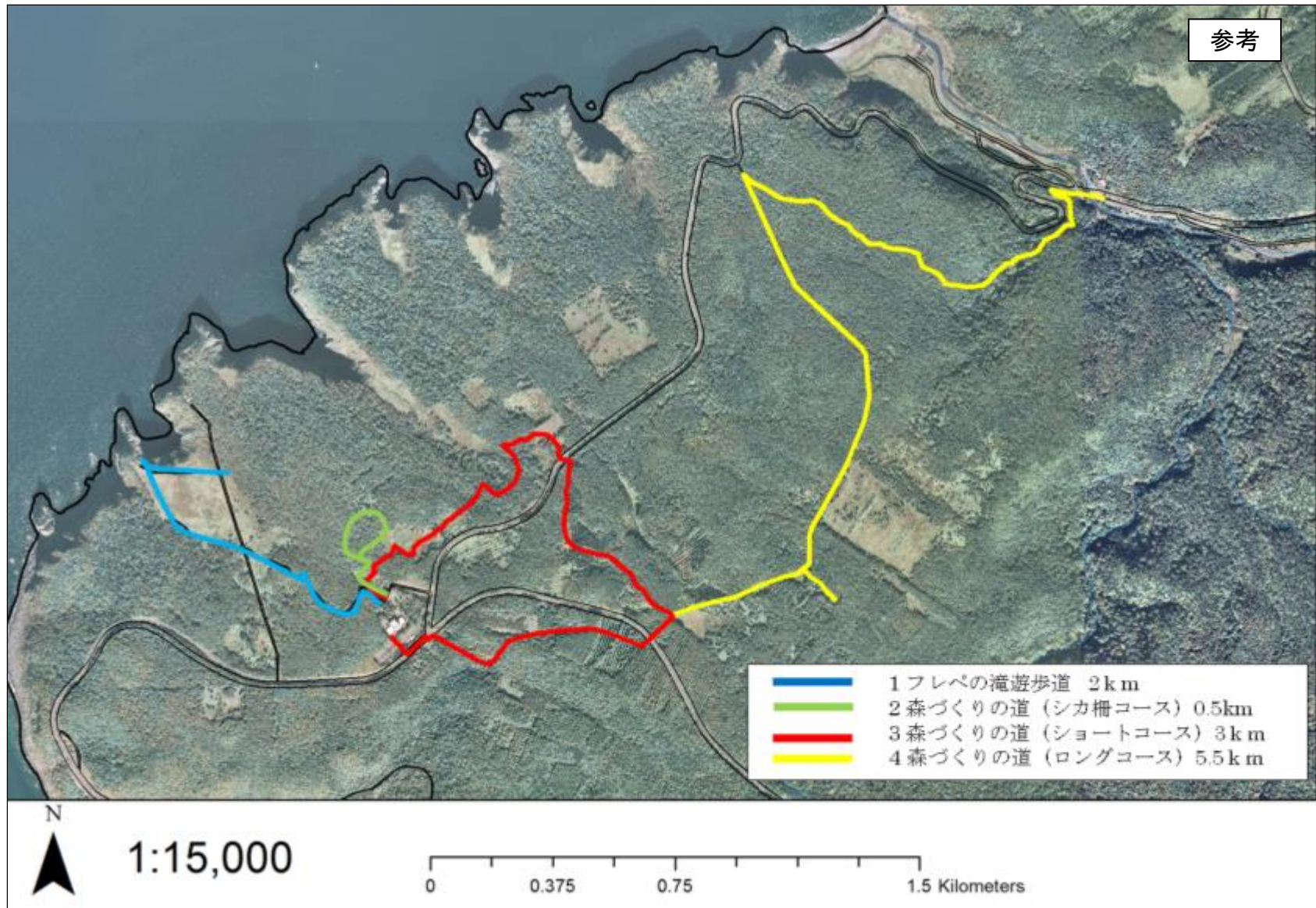


図3. レクチャー・散策後の運動に対する理解度と興味度 (N=340)



図：社会実験における設置コース

表：社会実験の日別実績

参考

日付	天気	コースの開閉状況				観光船	施設入込		コース別利用者数				レクチャー		バスチケット配布枚数		モニターツアー参加者数		アンケート回収数	入会・寄付					
		フレベ	シカ柵	ショート	ロング		自然センター	ダイナ	フレベ	シカ柵	ショート	ロング	実施回数	参加者数	大人	小人	AM	PM		賛助会員	トラスト				
10月14日	火	暴風/雨	○	○	○	×	×	1025	329	98	17	5	-	9	34	-	-	5	0	14		1			
10月15日	水	曇/晴	○	○	○	×	×	896	149	329	13	42	-	10	62	-	-	8	7	37					
10月16日	木	晴/曇	○	○	○	○	○	926	190	268	9	14	14	12	40	6	0	2	6	21					
10月17日	金	曇	○	○	○	△	○	681	194	213	8	22	8	10	36	7	0	4	3	13	1	3			
10月18日	土	曇	○	○	○	○	×	1040	242	441	13	49	27	10	63	11	1	2	6	26	1				
10月19日	日	晴	○	○	○	○	△	1194	129	416	47	39	8	14	53	9	0	5	4	26					
10月20日	月	晴/曇	○	○	○	○	○	906	265	194	11	24	12	12	78	14	0	10	3	33	2				
10月21日	火	雨	○	○	○	○	△	1090	363	323	3	21	2	11	53	0	0	0	2	17					
10月22日	水	曇/晴	△	○	○	○	△	658	107	229	22	86	9	8	36	11	0	9	6	22		1			
10月23日	木	晴	○	○	○	○	△	610	232	81	8	25	10	5	17	8	0	7	2	13					
10月24日	金	晴	○	○	○	○	○	654	93	334	35	32	4	8	99	7	0	6	0	9					
10月25日	土	晴	○	○	○	○	○	502	129	151	2	2	15	9	25	8	0	5	2	14	4				
10月26日	日	晴	○	○	○	○	-	590	228	125	22	17	10	10	46	7	0	1	1	20					
10月27日	月	晴/雨	○	○	○	○	-	338	125	41	9	7	7	8	36	2	0	5	1	15					
10月28日	火	晴/曇	○	○	○	○	-	438	57	113	4	14	4	6	16	6	1	1	2	9	1				
10月29日	水	曇	○	○	○	○	-	171	49	19	2	6	1	2	7	3	0	2	5	7	1				
10月30日	木	晴	○	○	○	○	-	410	50	95	6	17	8	9	34	12	0	7	4	28					
10月31日	金	曇/晴	○	○	○	○	-	386	75	116	6	4	11	10	45	7	0	6	10	24					
合計								12514	3006	3584	237	426	150	163	780	118	2	85	64	348	10	5			
1日平均								695	167	199	13	24	9	9	43	7	0	5	4	19	-	-			

バス乗車実績
大人:105人
子供:2人